いしかわ労福協

第 543 号　2013年4月25日

発 行 所　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　狩山　久弥
編 集 人　上野　貞彦
〒920-0024　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

福祉基金の運用活用を確認

～労働者福祉基金管理委員会～

労福協は、4月25日(木)フレンドパーク石川において第12回労働者福祉基金管理委員会を開催した。

委員会には委員9名全員が出席し、2012年度の運用と活用状況、2013年度事業計画について確認を行った。

委員長である狩山久弥石川労福協理事長の開会あいさつに続き、人事異動に伴う委員交代が提案され、提案どおり交代を確認した後、報告と協議が行われた。

報告では、2012年度の基金運用は同基金の管理運営規定に基づき北陸労働金庫による預金・出資金として運用しその運用益について全額、子育て支援ネットワーク事業における子育て支援及び婚活支援事業に活用したことについて、宮下亮専務理事が説明し承認された。

続いて、2013年度の事業計画については、規定に基づき、引き続き北陸労働金庫の預金・出資金として運用し、その運用益を用いて、昨年度と同様に子育て支援ネットワーク事業費に充当することを宮下専務理事が提案し承認された。

委員からは、福祉基金によって子育て支援事業や婚活支援事業が利用しやすいものとなるよう、引き続き努力･工夫されたいとの意見があり、今年度の活動に生かす方向で事業にあたるよう労福協理事会において確認していくことが狩山委員長から付言されて閉会した。

お知らせ

石川県労働者福祉協議会は、お陰さまで、今年、創立50周年を迎えます。

そして、4月1日に社団法人から一般社団法人へ移行いたしました。

今後とも、ご支援いただきますよう宜しくお願いします。

なお、所在地、電話番号には変更ございません。

2013年度地方労福協事務担当者研修会

4月11日(木)～12日(金)、新横浜国際ホテルにおいて、中央労福協2013年度地方労福協事務担当者研修会が、全国の労福協事務担当者ら40名が参加して開催された。

山本幸司中央労福協副会長が「協同組合が、世界的にも、日本的にも過渡期を迎えているなかで昨年制定された、『国際協同組合年』の意義を顧みて、この取り組みを継続・発展させることで、労働者運動の底上げをしていきたい」と開会挨拶をした。

続いて、全労済全国組織事業本部より、4月から開始した労福協「団体生命共済」制度の内容及び事務手続きについて説明がされた。また、ワーカーズコープ事務局長田嶋康利氏が、労働者が経営権を持つ「雇用されない働き方」の紹介をした。長田氏は、「ワーカーズコープは、地域で必要とされている仕事を地域の人と共に起こすことでまちづくりに取り組んでいる。業種は様々だが、介護・福祉関連事業が特に多く、加盟団体全体で5万人の就労者、304億円の事業規模がある」と説明をした。

2日目は、労福協に関わる社会保険・労働保険関係の制度説明および手続き方法の解説の後、精神保健福祉士の苅田尚晴氏より、若者に増えている"コミュニケーション障害"(1対1で会話することを面倒に感じてしまう)の人たちとのコミュニケーションの取り方や、コミュニケーションを阻害する原因などについて講演を受けた。相手の立場に立った聞き取り・伝え方に心がける大切さを改めて考えさせられて、2日間の研修会を終えた。

労福協　職員　石井光江

お知らせ

県ライフ・サポートセンター事務局次長を務めてきた谷内英明氏が、3月31日付で北陸労金を退職されました。

谷内氏は、ライフ・サポートセンターの設立間もない時期から足掛け10年間、県ライフ・サポートセンターのみならず、金沢地域ライフ・サポートセンター事務局長、県勤労者互助会事務局長として、また、県内9地域のライフ・サポートセンターの事業活動の充実に向けた業務に従事してこられました。

長年のご苦労に対し感謝を申し上げるとともに、これからもより充実した人生を送られることを祈念します。

なお、当面、労福協の臨時職員として、事業の引き継ぎ業務と後任の指導にあたられます。

また、この異動に伴い、北陸労働金庫より、今西十曜治氏が4月1日より着任し県ライフ・サポートセンター事務局次長として活躍しています。これからもよろしくお願いします。

これからの行事予定

(4月30日現在)

開催日	曜日	行　事	会　場
4月29日	月	メーデー協賛　第22回ボウリング大会	ジャンボボール
5月 1日	水	第84回石川県統一メーデー	石川県中央公園
2日	木	フレンドパーク運営委員会	フレンドパーク石川
7日	火	北陸3県連合、労福協、事業団体連絡会議（～8日）	山代温泉
9日	木	第84回石川県メーデー実行委員会	金沢市内
10日	金	労金県本部合同推進会議	金沢都ホテル
〃	〃	石川県勤労者互助会総会	〃
〃	〃	労福協　第1回理事会	金沢スカイホテル
14日	火	消団連　第6回幹事会	フレンドパーク石川
〃	〃	金沢勤労者福祉サービスセンター理事会	金沢市役所
16日	木	メーデー協賛　第13回グラウンドゴルフ大会	大和町広場
24日	金	メーデー協賛　第24回ふれあいチャリティゴルフ	小松ツインフィールズ
25日	土	メーデー協賛　第1回パークゴルフ大会	木場潟パークゴルフ場
〃	〃	食とみどり水NW　海外支援米田植え	金沢市牧山町
26日	日	クリーンビーチ石川	金沢市専光寺海岸
29日	水	勤体協　第46回定期総会	フレンドパーク石川
30日	木	勤文協　第44回通常総会	〃
〃	〃	フレンドパーク石川　防火訓練	〃
〃	〃	メーデー協賛　第45回勤労者写真サロン展（～6月2日）	アートシアターいしかわ
6月5日	水	労福協　第52回通常総会	フレンドパーク石川
6日	木	中央労福協　全国研究集会（～7日）	高知県
〃	〃	メーデー協賛　第45回勤労者写真サロン展　小松展（～10日）	小松市民ギャラリー　ルフレ
8日	土	メーデー協賛　第19回囲碁・将棋大会	フレンドパーク石川
13日	木	中部会館協　定期総会（～14日）	金沢都ホテル
〃	〃	メーデー協賛　第45回勤労者写真サロン展　白山展（～17日）	白山市民工房うるわし2F

「ぼうさいカフェ in いしかわ」を開催

Dr.ナダレンジャーの科学実験ショー

3 月 23 日（土）、全労済石川県本部は金沢ライフ・サポートセンター等と共催し、香林坊アトリオ（ステージ・広場）にて防災や減災について楽しく学ぶ「ぼうさいカフェ in いしかわ」を開催した。当日の天候は曇りで気温が低い中でしたが、人の行き来が多い会場のため参加者も多く、予定定員を超える延べ 83 名の参加があり、大盛況となった。また、会場の近くの金沢中央公園入口付近に起震車を設置し、59 家族、約 130 人の方が地震の体験をすることができた。

ステージでは、防災科学技術研究所の納口恭明先生が Dr. ナダレンジャーに扮して、自らが考案・制作した道具を使っての実験を交えて分かりやすく自然災害について解説する「Dr. ナダレンジャー　防災科学実験ショー」や金沢市消防局による防災に関する講演、クイズを中心とした「防災豆知識」コーナーを行った。

さらに、『防災・減災の意識の向上』をテーマにした「防災グッズ」「防災関連書籍」等のブースを広場に設け、多くの方に見てもらい目と耳と体験により防災・減災の知識を深める機会となった。

参加者からのアンケートでは、「ぼうさいカフェは、防災知識の向上に役に立った」「ナダレンジャーのショーは具体的で面白かった」「防災豆知識のクイズに残れて良かった」「起震車に初めて乗って貴重な体験ができて良かった」等々、大変好評であったことが伺えるものとなった。

起震車による地震を体験

～たくさんのご来場ありがとうございました～

愛のエコキャップ運動

労福協及び福祉事業団体などで取り組んでいる「愛のエコキャップ運動」に、皆さんの温かいご協力をいただき感謝します。

お陰さまで、今年 3 月までに約 13,000 個が集められ、16.7 人分のワクチンを提供ができたほか、102.3kg の CO^2 発生の抑制に貢献できました。

引き続きご協力をお願いします。

○キャップ 400 個で 10 円のワクチン代ができ、20 円でポリオワクチン 1 本分、一人の子どもの命が救えます。

○キャップ 400 個をゴミとして焼却処分されると 3,150g の CO^2 が発生します。

全国労働者福祉会館協議会幹事会

4 月 11 日（木）～ 12 日（金）に全国会館協 2012 年度第 2 回幹事会が、静岡県内にて開催された。

幹事会には、フレンドパーク石川が所属する中部会館協議会からは、中塚宗浩会長と上野貞彦事務局長が出席した。

幹事会では、各ブロックにおける会員の事業運営状況や、公益法人改革の対応状況について、報告意見交換を行なった。全国的には未だ移行手続き中の会員がいる状況であったが、中部会館協議会の会員は 4 月 1 日までに対象会員の全てが移行したことを上野幹事が報告した。

報告を受けて、会員事業の利用推進を全国会館協として中央労福協に働きかけることが協議されたほか、公益法人制度改革による特例法人からの移行後における税制問題を中心にした研修会を開催することや、9 月の定期総会に向けて次回幹事会で議案内容を協議することが確認された。

また、婚礼やレストランを運営する会館事業を伴う会員においては、厳しい環境下で如何にして事業の安定化を確保するか意見交換が行われ閉会した。　　労福協事務局長　上野貞彦

勤文協「吉野千本桜と又兵衛桜」撮影バス研修旅行

カメラアングルなど指導の模様

勤文協は、４月４日(木)写真撮影研修旅行として、奈良県吉野千本桜と又兵衛桜を訪ねた。

今年から、写真と絵画スケッチの研修旅行を分離し、隔年毎に開催することとしたもので、折しも、今年は勤労者美術展が秋に開催されることもあり、春の実施となった。今回は､写真愛好家に中川宏治･内島一郎の両先生が同行し、総勢 39 名が参加して催行された。

午前 6 時 30 分金沢駅西口の出発は、深夜の地震により電車に遅れが生じたことで少々遅れぎみの出発であったが、参加予定者全員で、一路｢吉野千本桜｣に向けて直走った。

昼食休憩後に奈良市入りとなり、先ずは中千本の｢如意輪寺｣でバスを降り、２時間余りの写真撮影を楽しんだ。

参加者がこぞって撮影

５分咲きと聞いていた桜は、何かしら見た目はさみしく映り心配したが、カメラのレンズからは｢春爛漫｣の桜が映し出され成功と胸をなで下ろした。次の目的地である樹齢 300 年の｢又兵衛桜｣では、どっしりした風格でどこから見ても綺麗だった。参加者は、｢我先に！｣と、場所選びに汗だくだくで撮影に夢中であったが､集合時間通りに集まる行儀良さに感心した。参加者の満足げな顔に安心し帰路に着いた。

金沢－吉野の日帰り 16 時間のバスの旅に、一様に疲れを隠せない様子だったが、撮影した自分の作品に満足しているのではないでしょうか。

今回撮影した写真が、作品となって勤文協主催の｢勤労者美術展｣などへ出品されることを願っている。(感)

石川県勤労者文化協会事務局長　吉田寿子

勤文協が会報を発刊

勤文協(石川県勤労者文化協会)は、毎年発行している会報｢No.34｣を発行した。

会報には、氷田清風顧問の｢勤労者美術展にたずさわって｣と題して、勤文協が一大イベントとして開催している勤美展の始まりから今日に至るまでの回想や取り組みのほか、｢第 62 回勤美展｣で厚労大臣賞を受賞された方々の喜びの声などが掲載され、今号も読み応えのある内容が綴られている。

地域ライフ・サポートセンター間交流

河北地域ライフ・サポートセンターは、３月 17 日に白山･野々市地域ライフ･サポートセンターとの交流を白山市で開催した。

白山野々市 LSC との交流会は、昨年の津幡町の倶利伽羅塾での開催に続くものとして、今年は白山市での開催とした。

始めに、白山市の鶴来総合文化会館｢クレイン｣において、先人のおくりもの｢白山･手取川･日本海わが町の民族芸能祭り｣により白山市の歴史民族を学んだあと、会場を変えて交流会を開催した。

今回の交流テーマは、①両 LSC における一年間の取り組み、②桑江河北 LSC 幹事の東日本大震災視察のスライドによる報告、③両 LSC における市民レベルでの交流、について熱心に討議した。

最後に、来年度にかほく市において、市民交流親子芋作り体験を行うことを確認し、今後、具体的な内容を詰めていくこととして、交流会における討議を終え、その後の懇親において更に交流を深めながら、来年度の事業成功を誓い合った。　　河北地域 LSC 事務局　吉川武久

勤体協

第47回県勤労者春季バレーボール９人制大会（4月21日・金沢市総合体育館）

◇男子
①新神田ＶＣ②国府クラブ③北菱電興④荒屋ＶＷ

◇女子
①ＶＳ☆Ｌ②ＢＯＮＤＳ③ＯＲＡＮＧＥ④宝達志水ママさん

①兼六②兼六球姫③若草クラブ④ＭＯＲＯＥ

※この機関紙は再生紙を使用しています。